

# 錦江に生きる

じゅうよにん目

くわはら  
桑原 直也さん  
なおや

(神川中自治会)

▼珍しく真剣な表情



▲教え子たちと仲良く一枚

「ノッポ」と言われることを極端に嫌う桑原直也さんは長身が自慢のスポーツマン。ずっと続けている剣道は五段という腕前。他にもサーフィン、野球、バスケットボールにバレーボールと多種多様なスポーツを精力的に続けている。さらには5年前からは神川小剣道スポーツ少年団の指導者として子どもたちに剣道を教えている。子どもたちに指導出来る立場にいるのか悩むこともあるが、子どもたちが剣道を通して少しでも成長していける力になれるのなら、出来るだけ頑張っていこうと考えているそうだ。というのも、直也さん自身が剣道も人生もまだまだ未熟で勉強中の身だと感じているからだ。保護者からの信頼が厚いのではないかと感じた。

このようにスポーツのことは書きとスポーツばかりしている感じがするが、書道も4段の腕前ということ。学生時代は学業も優秀だったという。(本人談)

直也さんは、現在奥さんと愛娘の三人家族。独身時代は神川青年団に所属し、一週間のうち8日は「のん方」をしていると言われるぐらい、地元の間人たちと地元活性化について語り合っていたが、現在は家庭一番ということで、出来るだけ家族と一緒にいる時間を作っているのだそう。これは、地元への気持が薄れたのではなく、家族も地元もどちらも大切にしていこうと決め、まず自分の家族を守らなければ、到底地元を守ることが出来ない。という持論をもっており、今でも地元などの行事には率先して参加して頑張っている。

直也さんに最後に一言お願いしたところ、自分は錦江町が大好きで神川が大好きで家族が大好きです。だから、いつか、ひとりの人間として、役場職員として、全てを幸せに出来たらいいな、と照れくさそうに話した。



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。

第14回目は、神川中自治会の桑原直也さんです。

錦江町

## おもいで写真館

歌に合わせて女性が踊りを踊る。「棟上の木やり」  
現在でも、町内ではいくつかの集落に残っています。

撮影年月日不詳  
田代地区での上棟式の様子

▶写真のご協力をお願いします。◀

「錦江町思い出写真館」に掲載する写真を募集します。

撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。

お借りした写真は責任を持ってお返しします。

